淀川の環境について学ぶ出前授業

淀川流域に住む子供たちが淀川の歴史と水の役割について学び、淀川の環境を守るにはどうしたら良いかを考える機会を作りたい。そして郷土の淀川が自慢できて愛される川となるような授業をしたい。

1. 授業時間　　約 45 分



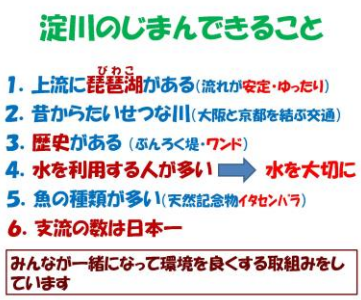
2. 対　象　　小学校4年生

3. 授業内容

(1) 河川レンジャーとは （2 分）

(2) 淀川のなりたち （8 分）

・昔は守口は海の中だった（河内湾）
・水害対策として堰堤（文禄堤）、流れの変更（大和川切り離し、淀川放水路）
・人と物を運ぶ淀川の役割（江戸時代の三十石船、明治の蒸気船）
・ワンドはどうしてできたの？



(3) 淀川の水の役割（13 分）

・生活用水（上下水道）、農業用水、工業用水、河川公園、支流河川の浄化
・水使う人口は？（1400 万人）　、
・左岸ってどっち？

(4) 淀川の魚たち （12 分）・・・・・淀川の在来魚を展示します

・ブラックバス、ブルーギルはどこからどうして来たの？、なぜ駆除が必要なの？。
・メダカとカダヤシの違い
・コイとフナの違い
・天然記念物のイタセンパラとは？。城北ワンドで復活

(5) 津波や洪水になったら （10 分）・・・ライフジャケット、スローロープ持参します

・守口市の海抜は？（約 3m～5m）
・津波警報が出たら、どこに逃げるの？
・避難経路と避難場所
・地下のトンネルや貯水池に水をためる
・おぼれた時の対応（仰向けで下流を見て流される、岸から助ける、スローロープ）



4. 講　師

国土交通省 淀川河川事務所 認定 淀川管内河川レンジャー　　出来 猛

5. 実施時期　　2015 年 6 月 または 7 月　　（一部 2 学期の開催も可）